光る知性　豊かな心　強い意志

南 中 生

長井市立長井南中学校
令和 6年 10月 25日
校長　柿　崎　　円

10月24日 第43回 創立記念式
地域ボランティア活動 【ラブリー長井】

10月24日（木）本校の第43回創立記念式を挙行しました。今年度より制服選択制となったので、式辞の中で開校時の制服についてふれてみました。

～式辞より（抜粋）～

新しい南北中学校の制服について検討が始まったのは、開校の1年ほど前だったそうです。男子の制服は、学生服が一般的で求めやすいということで、冬は学生服、夏は白ワイシャツと落ち着きました。しかし、女子の制服についてはだいぶ難航したそうです。デザインはセーラー型とブレザー型の案が出されました。検討を続けるうちに一度ブレザー型に落ち着きかけたのですが、「長井高校の制服と紛らわしい」「南北中の見分けがつきにくい」などから、セーラーカラーのブレザータイプ・襟に2本のスクールカラーのラインを入れる、昨年度までは「女子の制服」といわれた今の形になったそうです。

また、襟元は、統合前の学校ではリボンだったものをすっきりとしたスクールカラーのネクタイに変更しました。スカートのプリーツは、ボックスプリーツにするか今のスカートのプリーツにするか検討が重ねられました。季節の移行期にはベストを着用するなど、どんどん決まっていったそうですが、ネクタイだけはなかなか思い通りの形にならず、業者の方に何度も試作品を作っていただいたそうです。

できあがった制服を試着した中学生の写真が市報で紹介された時、制服検討に携わった方々はホッとした気持ちとこれで大丈夫だろうかと不安になったそうです。

制服ひとつとっても、新しくスタートする南中学校に多くの人の願いや思いがこもっていることがわかります。

当時携わった方々は、43年後にまさか制服が選択制になっていることなど予想もしなかったでしょうから、今、どんな気持ちで中学生の制服をご覧になっていらっしゃるでしょうね。制服がどう変わっても、南中生への温かなまなざしと応援してくださる気持ちは変わらないのではないかと思います。

制服選択制、部活動任意加入制…根底にあるのは「多様性を尊重する」という考え

方です。一人一人が安心して学校生活を送ることができる、仲間と共に生きる力を伸ばす学校、そんな「南中学校」でありたいと思います。お互いを認め、関わり合えるあたたかな校風を伝統として受け継ぎ、次へつなげていきましょう。

みなさんが生きていく時代は「予測困難な時代」と言われます。写真を見てください。昨日の校舎正面の写真です。何か気づくことはありますか？変だと思うことはありませんか？



これは携帯電話で写真を撮り、携帯電話内にある消しゴム機能で校名と右の階段に設置しているプランターの花を消した写真です。

このようなことが誰でもできる時代です。色々な情報であふれ、何が正しいのか誤りなのかも判断しづらいことがいっぱいです。だからこそ、物事を自分のこととしてとらえる、問いをもって自分から学ぼうとする姿勢を大事にしてほしいと思います。

開校時の教育委員長さんが、残してくださった言葉を紹介します。

「長井南中学校の先生方よ、生徒諸君よ、信念をもって一日一日を正しく生き抜いてください。長井南中学校よ　永遠に　栄光あれ」

みなさんが伝統に磨きをかけ、さらに全校生が成長・向上をすることを期待しています。

午後は自分の住んでいる地区の方と一緒にボランティア活動を行いました。今年で30回目となる、地域ボランティア活動【ラブリー長井】です。一生懸命取り組む姿はしっかりと受け継がれています。









ラブリー長井を振り返って　３年

今回が最後のラブリー長井ということで、人一倍気合を入れて取り組みました。3度のボランティアを通して、地域のためになることを自分で考え、行動していくことも大切だと思いました。

ラブリー長井ではあらかじめ作業内容が指定されていますが、そうではなく、自分から行動していくことが大切だと思います。そんなことを考えられた、濃い活動になったと思いました。

また、５人の生徒が西置賜校へも赴き、一緒に清掃活動を行う交流活動を行いました。西置賜校の生徒さんは自己紹介カードを準備し、南中生を出迎えてくれました。短い時間ではありましたが、とても有意義な活動となりました。西置賜校のみなさん、ありがとうございました。





